



桑名市  
KUWANA CITY

# 桑名市の医療・介護・福祉連携

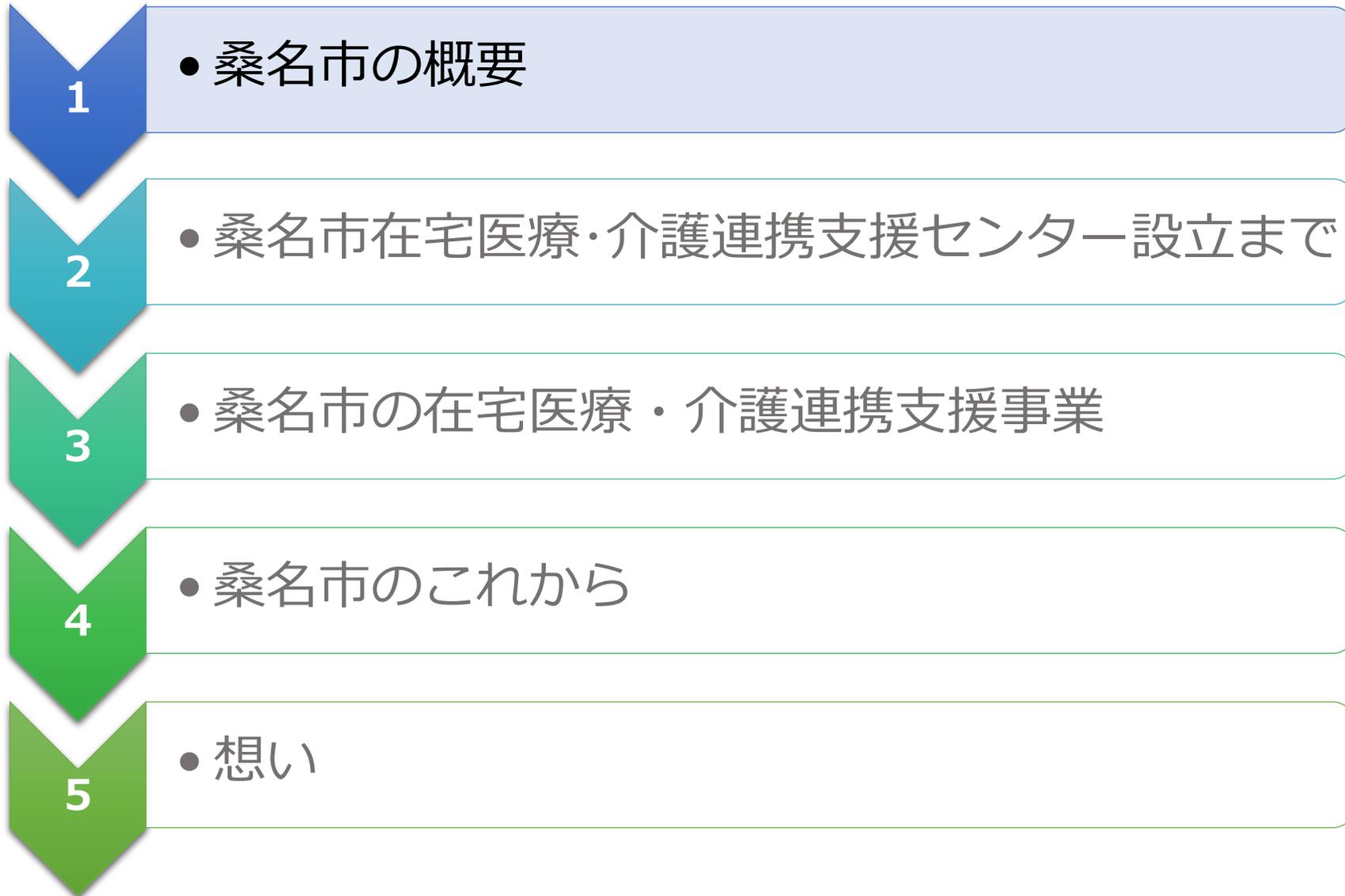
「最期の時を住み慣れた場所で迎える」  
という選択ができるまちを目指して

桑名市役所

保健福祉部地域医療課

藤井 泉





# 桑名市の紹介

全国アミューズメントパーク入場者数第3位  
ナガシマリゾート



鹿鳴館で有名な  
ジョサイア・コンドルの設計  
山林王・諸戸家の邸宅  
「六華苑」



その手は  
桑名の  
焼き蛤

「くわな石取祭」がユネスコ無形文化遺産に  
登録されました！

「2016年ジュニア・サミットin三重」が  
桑名市で開催されました！



4月22日から4月28日まで開催



鉦や太鼓を打ち鳴らし、「日本一やかましい祭り」と  
言われています（春日神社桜門前にて）

## ● 桑名市の概要

平成16年12月 桑名市、多度町、長島町が合併し、現在の桑名市が誕生  
名古屋のベッドタウン

- ◆人口 **142,951人**
- ◆面積 136.68 km<sup>2</sup>
- ◆高齢者人口 35,851人  
**高齢化率 25.08%**
- ◆日常生活圏域  
6圏域（東・西・南・北・多度・長島）
- ◆要介護・要支援認定率14.11%

三重県



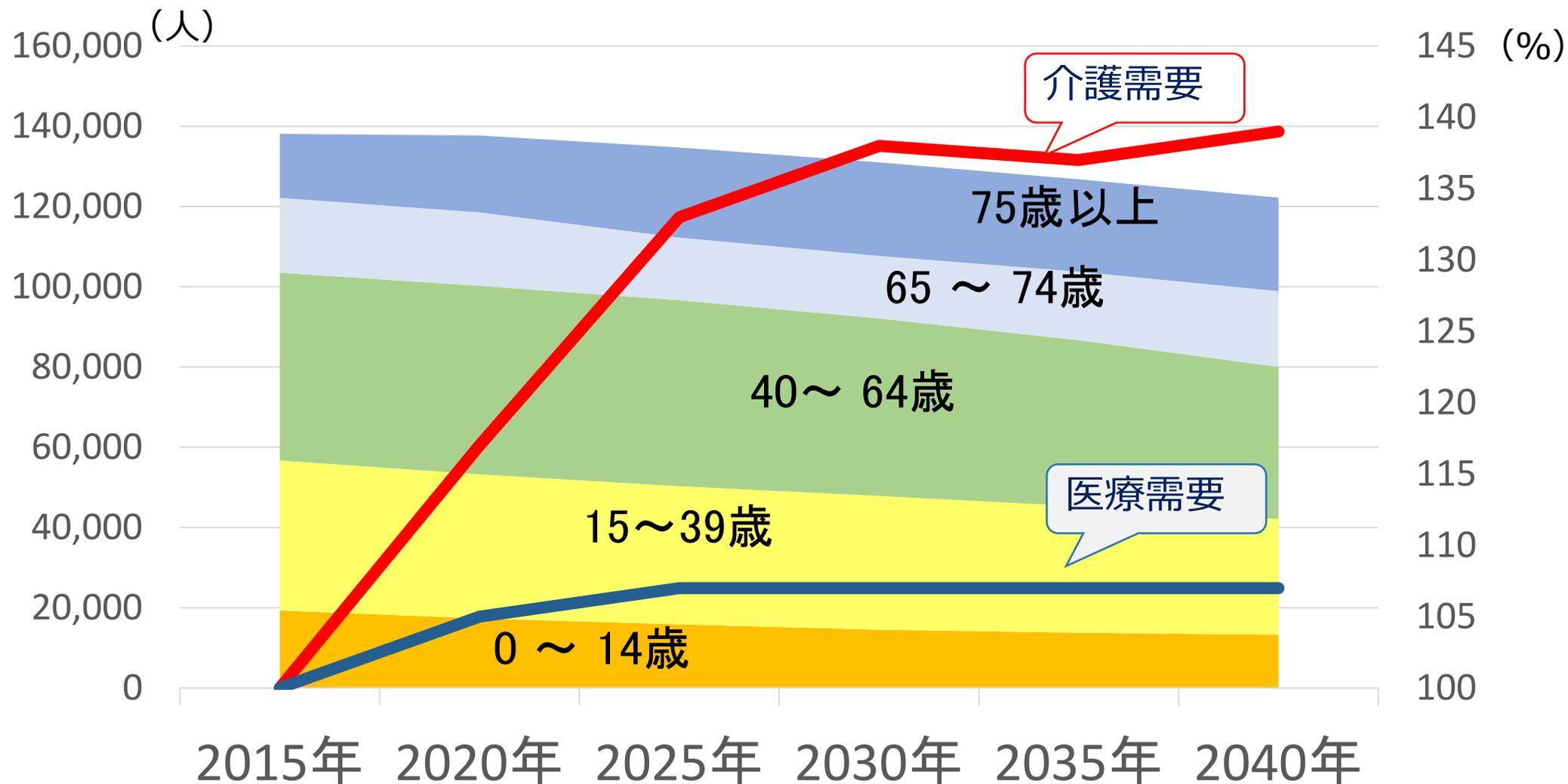
### 桑名市の医療機関数

病院	診療所	歯科医院	薬局
11 施設	80 施設	69 施設	81 施設
在宅療養支援病院 3	在宅療養支援診療所 18	在宅療養支援 歯科診療所 8	在宅患者訪問薬剤 管理指導料届出 57
在宅療養後方支援病院 3			

### 桑名市の介護事業所数

地域包括支援センター	5施設	訪問看護事業所	14施設
居宅介護支援事業所	39施設	訪問介護事業所	29施設
小規模多機能型居宅介護	7施設	訪問リハビリテーション	3施設
通所介護事業所	31施設	通所リハビリテーション	7施設
地域密着型通所介護事業所	37施設	短期入所生活介護・療養	6施設

# 桑名市の医療介護需要予測



# 死亡場所について

内閣府「高齢者の健康に関する意識調査」結果(平成24年)  
桑名保健所年報 より

万一、あなたが治る見込みがない病気になった場合、最期はどこで迎えたいですか？

## 回答結果



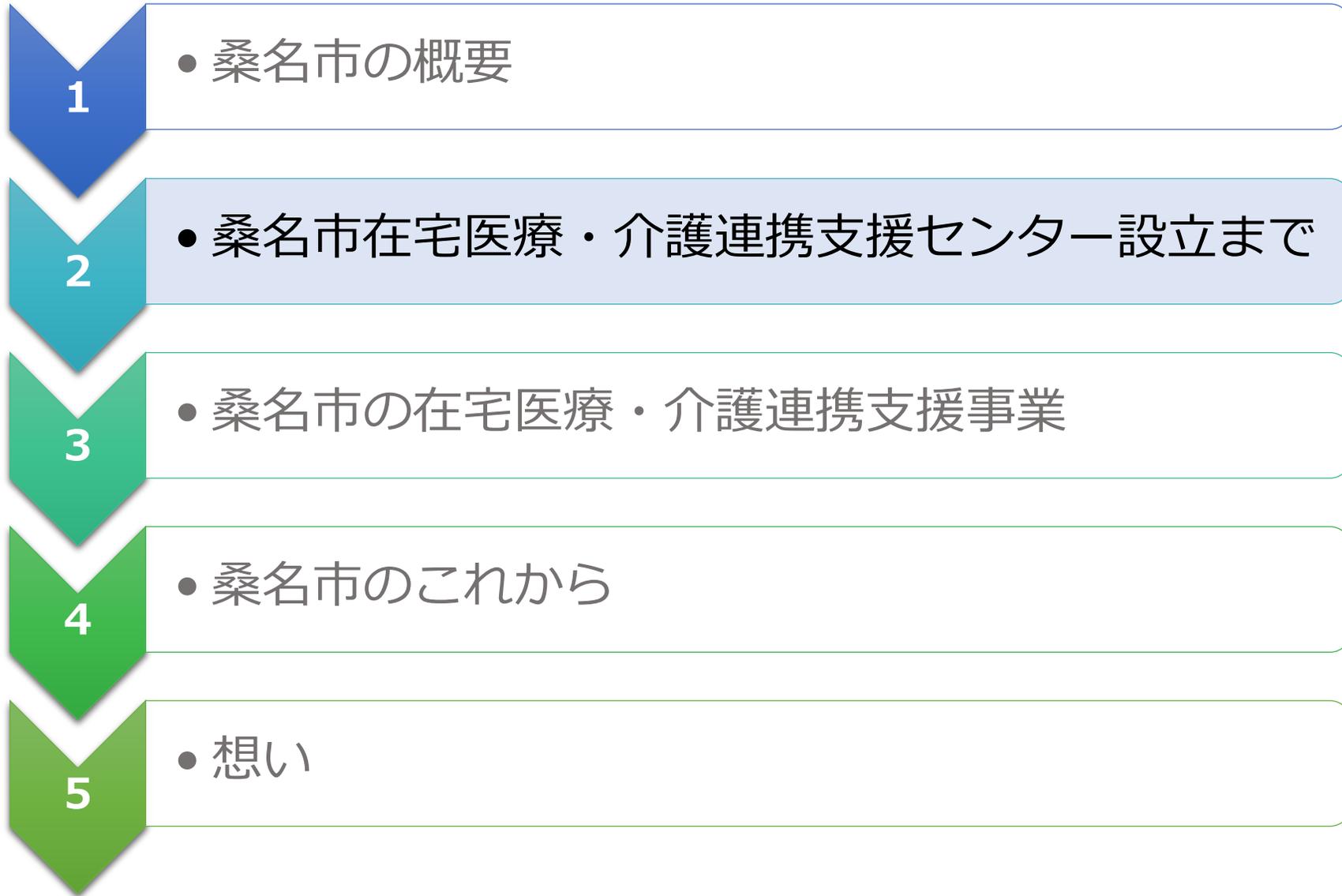
## 死亡場所

H26



H27





## 桑名市の医療・介護連携の経緯

平成21年度

### 桑名市地域医療 対策連絡協議会

設置

地域医療体制等の  
諸問題を検討

### 桑名市民病院の 地方独立行政法人化

桑名市民病院  
& 桑名市民病院分院

平成22年度

### 医療と福祉

#### ・介護との連携部会

設置

医療・福祉・介護の連携体制  
構築の諸問題を検討

バラバラに開催されている勉強会を  
系統的にまとめて開催しよう！  
⇒ 効果的 専門職の負担減

### 地域医療提供体制部会

設置

病院の再編統合について検討

## 桑名市の医療・介護連携の経緯

平成23年度

### 桑名市在宅医療及びケア研究会

#### 運営委員会設置

医療・福祉・介護の多職種間の連携を円滑に推進するための研究会実施

桑名市の在宅医療やケアを必要とする人が  
医療やケアを受けることのできる体制づくり

- ◆運営委員会委員（9団体の代表）
  - 医師会
  - 歯科医師会
  - 薬剤師会
  - 医療機関（病院看護師）
  - 訪問看護ステーション連絡協議会
  - 地域包括支援センター
  - 介護支援専門員協会
  - 通所介護サービス事業所
  - 訪問介護事業者連絡協議会

## 桑名市在宅医療及びケア研究会

### ◆短期計画

- 多職種間の顔のみえる関係づくり
- 多職種間互いの知識と理解の向上とスキルアップ

### ◆中期計画

- 医師の退院時カンファレンスや担当者会議への参加
- 歯科医、薬剤師、の在宅医療チームへの参加

### ◆長期計画

- 医師とその他の職種の関係の形成
- 医療、福祉、介護の連携システムの構築

主治医とケアマネの  
連絡票 作成



欄外・様		123456789	
主治医とケアマネジャー（介護支援専門員）の連絡票			
医療機関名：		事業所名：	
医療機関名：	※欄外	事業所名：	※欄外
主治医氏名：	※欄外	担当者名：	※欄外
先生		電話番号：	※欄外
		Fax 番号：	※欄外
<p>日頃より大変お世話になっております。下記利用者様の介護保険のケアマネジャーを担当しております。以下の件について、先生のご指導を賜りたくご連絡させて頂きました。お忙しいところ誠に恐れ入りますが、ご回答をお願い申し上げます。</p> <p>なお、この機会を行うこと及び先生から情報提供いただくことについては、ご本人・ご家族の同意を得てご連絡いたしました。</p>			
利用者	氏名	介護度	要支援 1・2 要介護 1・2・3・4・5 中継中
	住所		
	生年月日	※大・縮 年 月 日生（ 歳）	男・女
連絡内容	<input type="checkbox"/> ケアプラン作成にあたっての意見 <input type="checkbox"/> サービス担当者会議のお知らせ・届出 <input type="checkbox"/> 医療系サービス導入について <input type="checkbox"/> 利用者の心身状況の変化についての相談 <input type="checkbox"/> 追加用員貸与にあたっての医学的意見（転医者様利用員貸与の主治医の意見を含む） <input type="checkbox"/> その他（ ）		
<内容>			
主治医回答欄（下記にご記入の上、Faxにてご返信ください）			
連絡方法等	<input type="checkbox"/> 連絡先で返します（時間等 月 日 時迄まで返してください） <input type="checkbox"/> 電話で返します（時間等 月 日 時迄まで返してください） <input type="checkbox"/> 以下の通り返します		
<主治医からの回答>			
ケアプラン（ 要 ・ 不要 ） / サービス担当者会議等の開催（ 要 ・ 不要 ）			
平成 年 月 日 医師名			

## ◆ 桑名市在宅医療及びケア研究会 講演またはグループワークのテーマ

- 
- 
- 第1回 顔の見える関係づくり、日ごろの思いを語ろう！！
  - 第2回 お互いの業務を知ろう！！
  - 第3回 お互いの業務を知ろう！！
  - 第4回 お互いの思いを知って、今後の連携にいかそう！
  - 第5回 実践事例、ここまできた！医療、福祉、介護の連携
  - 第6回 こんなに大切なんだ！在宅での歯科診療と口腔ケア
  - 第7回 桑名市における在宅医療の推進に向けて
  - 第8回 パーキンソン病の理解を深めよう。医療、介護、福祉の連携
  - 第9回 本当はみんな知りたかった！精神疾患の理解と対応のポイント
  - 第10回 「地域包括ケアシステム」ってなあに？私たちは何をするの？

平成24年度

**第5期介護保険法施行**

【改正内容】

「地域包括ケアシステム」の  
実現に向けた取組を進める

平成25年度

**桑名市地域包括ケアシステム  
推進協議会**「地域包括ケアシステム」の構築に  
向けた具体的な方策を協議市と医師会が連携して取り組む  
「在宅医療連携拠点」の設置と運営が必要医師会長：「在宅医療連携拠点」は医師会が  
その役割を担うつもりである**地方独立行政法人  
桑名市総合医療センター  
発足**基本構想・基本計画を策定  
新病院設計

## 平成26年度

### 在宅医療連携拠点のあり方について検討

#### 費用

人件費・事業費・  
運営費の検討

#### 連携ツール

ICTを使った多職種  
連携の検討

#### 役割

センターの役割

#### 職員

従事する職員の職種  
や身分

#### 設置場所

センターの設置場所

桑名市地域包括ケア  
推進計画策定

#### 第6期 介護保険 法施行

地域支援事業に  
「在宅医療・介護連携推進事業」が  
位置づけられる

平成27年5月

桑名医師会館に

OPEN!

桑名市在宅医療・介護  
連携支援センター

医療介護連携拠点

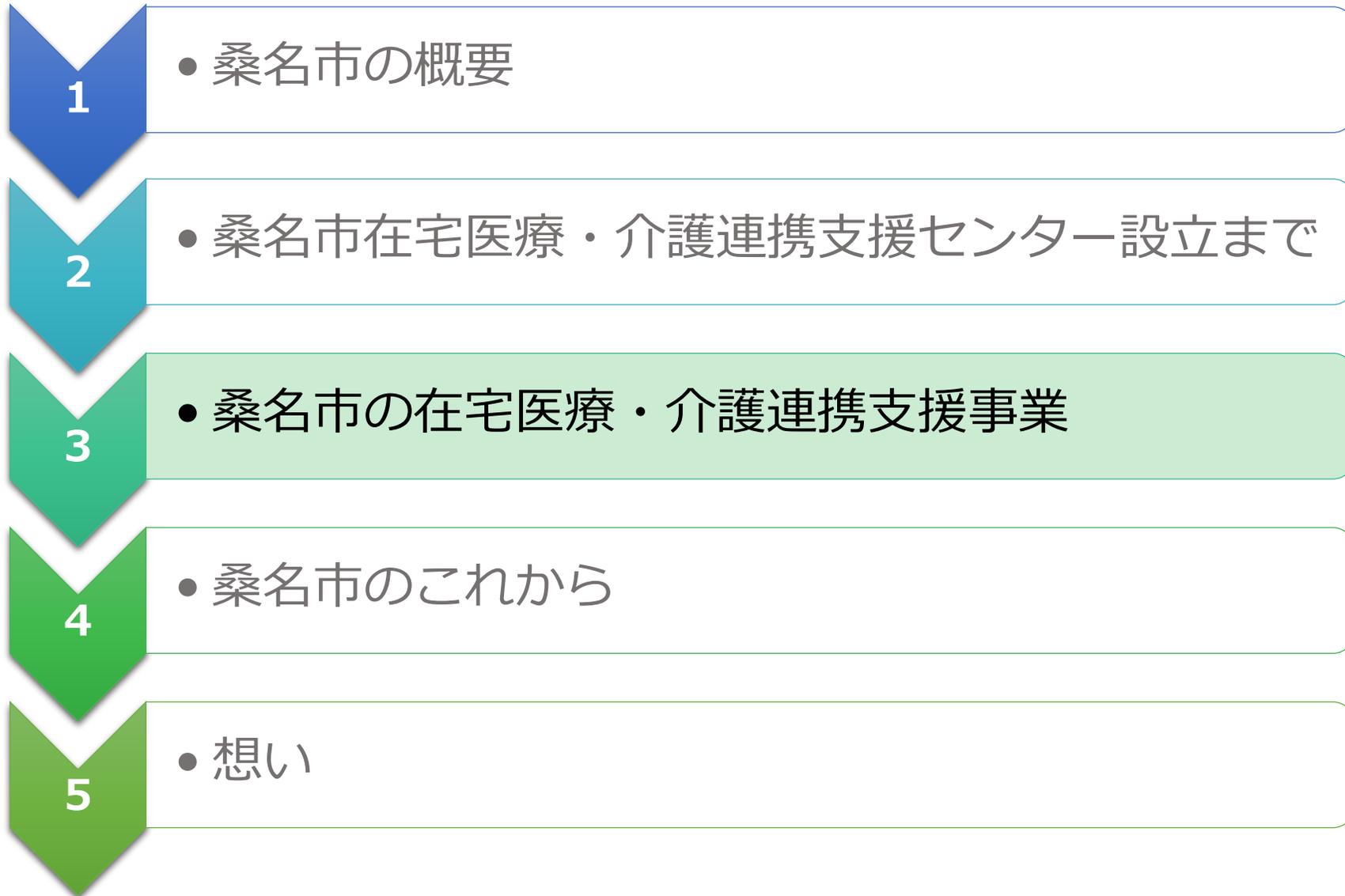
桑名市

桑名  
医師会

委託 & 協働実施

桑名市在宅医療・介護  
連携支援センター





## 何から始めよう？

### 医療・介護連携拠点として

#### ○関係機関へ周知

チラシの配布 会議での周知

#### ○専門職団体訪問

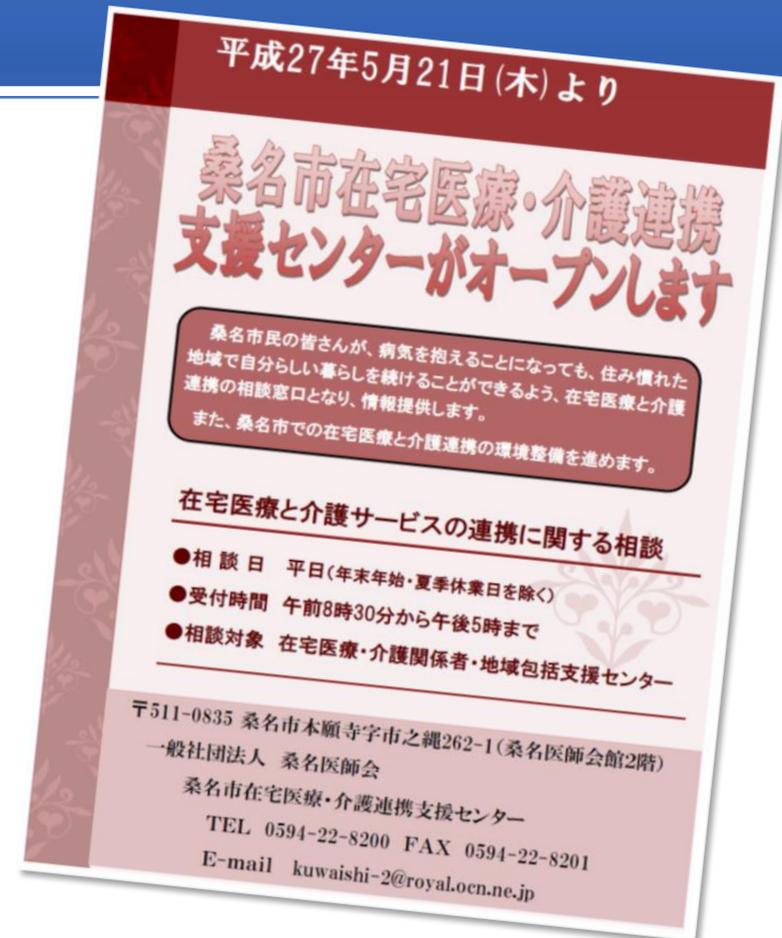
ケアマネ協会・介護職団体・MSW部会  
歯科医師会・薬剤師会・訪問看護

#### ○情報収集

連携拠点として提供できる情報の収集

#### ○バックベッド確保

人口規模から必要とする20床を確保



## 医療・介護連携拠点として

- 関係機関へ周知
- 専門職団体訪問
- 情報収集
- バックベツト確

## 協議体の設置

### ○協議会

「桑名市在宅医療・介護連携推進協議会」

在宅医療・介護連携推進事業に関する事項の協議を行う。

### ○調整会議

「桑名市在宅医療・介護連携調整会議」

協議会で決定したことの詳細を検討または実行。

## 医療・介護連携拠点として

- 関係機関へ周知
- 専門職団体訪問
- 情報収集
- バックベッドの確

### 協議体の設置

- 協議会
- 調整会議

## 地域の実態把握

### ○在宅医療に関する意識調査

医療機関・介護事業所に  
在宅医療に関する意識調査を実施

### ○地域資源調査

市内の医療・介護資源を把握し、  
市民と関係者に必要な情報を公開するため、  
医療機関・介護事業所に調査依頼。

## 医療・介護連携拠点として

○関係機

### 協議体の設置

○専門職

○協議会

### 地域の実態把握

○情報収

○調整会議

○在宅医療に関

○地域資源調査

### 情報連携支援

○バック

○ICT連携支援ツールの導入

ゆめはまちゃん医療・介護ネットワーク

○既存紙媒体の継続活用

- ・主治医とケアマネの連絡票
- ・地域連携口腔ケアサマリー

## オ 医療・介護連携拠点として

- 関係機関へ周知

- 専門職団体訪問

- 情報収集

- バックベッド確保

## イ 協議体の設置

- 協議会

- 調整会議

ア

イ

## 地域の実態把握

- 在宅医療に関する

- 地域資源調査

工

## 情報連携支援

- ICTシステムの導入

- 既存紙媒体の継続活用

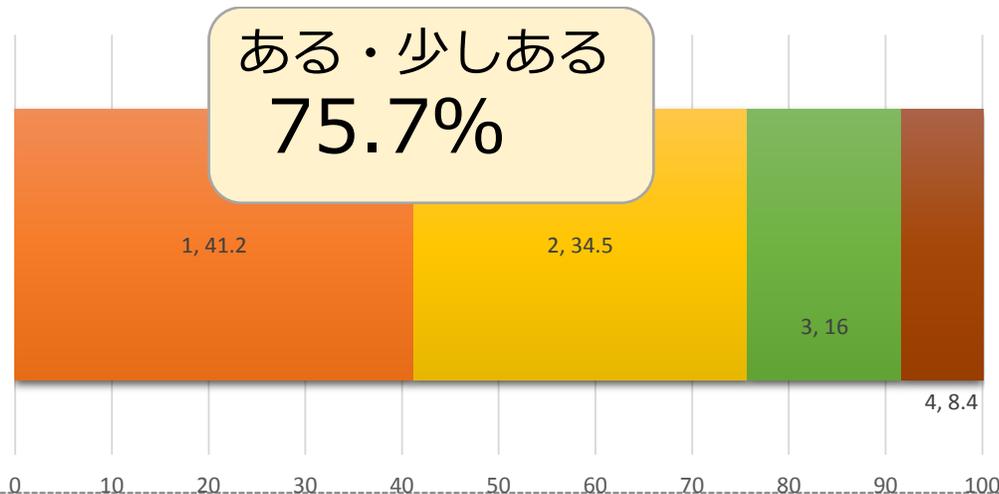
ウ

# 在宅医療に関する意識調査

医療関係者（病院・診療所・歯科・薬局）の調査結果から

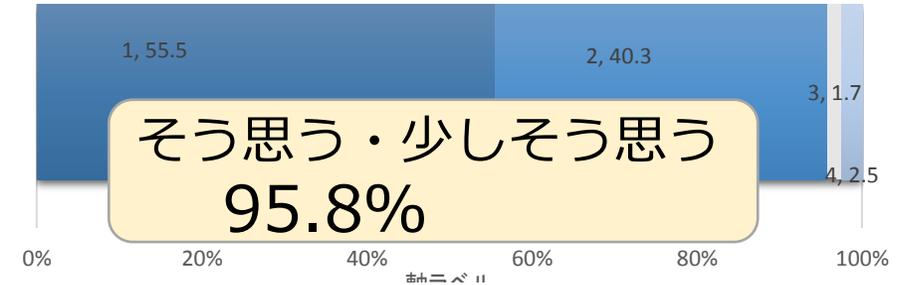
## 在宅医療に対するイメージ

在宅医療に関心がある。

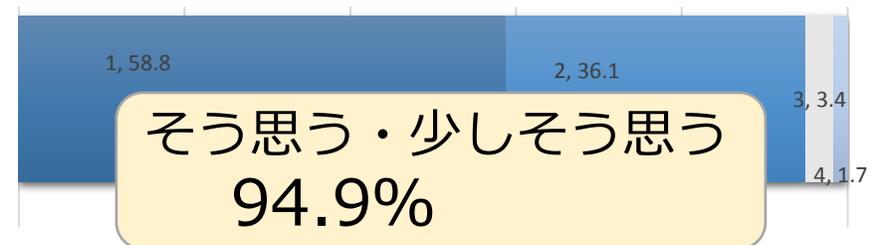


医療関係者の在宅医療に対する**関心は高い**。  
推進すべきだと感じている。

時間的拘束等の負担が大きい【提供者側】



家族の介護負担が大きい【受ける側】



在宅医療は、提供する側と受ける側**双方**  
**の負担が大きい**というイメージが強く、  
取り組むことを躊躇している。

医療提供側（医療関係者）の負担軽減と、受ける側（本人と家族）の不安軽減を考慮しながら事業を展開する必要がある。

# 在宅医療に関する意識調査

その他調査結果から

## 連携が難しい職種は**医師**

- ▶ 医療職と介護職が、お互いの専門分野の理解を深め、躊躇することのなく連携できるような関係を築く必要がある。

## 在宅医療推進の壁は**家族の理解**

- ▶ 家族への啓発と支援の充実が必要。訪問看護の役割は重要。ショートステイの充実の必要がある。

## 困難なのは**24時間対応**

- ▶ 在宅医療を行う医師が不足していること。また、24時間対応できる訪問看護と訪問介護の充実が必要となる。

## 桑名市在宅医療・介護連携支援センターへの期待

78.3%

訪問診療・主治医などについての情報提供と相談対応

58.5%

情報発信  
地域の医療 在宅医療に関する施設の情報

56.6%

レスパイト病床の確保及び情報提供

# 在宅医療に関する意識調査

その他調査結果から

## ウ エ カ

連携が難しい職種は**医師**

- ▶ 医療職と介護職が、お互いの専門分野の理解を深め、躊躇することのなく連携できるような関係を築く必要がある。

## キ

在宅医療推進の壁は**家族の理解**

- ▶ 家族への啓発と支援の充実が必要。訪問看護の役割は重要。ショートステイの充実の必要がある。

## ウ

困難なのは**24時間対応**

- ▶ 在宅医療を行う医師が不足していること。また、24時間対応できる訪問看護と訪問介護の充実が必要となる。

## 桑名市在宅医療・介護連携支援センターへの期待

78.3%

## オ

訪問診療・主治医などについての情報提供と相談対応

58.5%

## ア オ

情報発信  
地域の医療 在宅医療に関する施設の情報

56.6%

## オ

レスパイト病床の確保及び情報提供

# 桑名市の 医療・介護連携

## 在宅医療・介護サービス 提供体制の整備

- ◆バックベッド確保
- ◆病院関係者と在宅関係者との連携  
退院支援ルールと様式の作成

## 近隣市町との連携



## 情報共有支援

主治医と  
ケアマネの連絡票

ゆめはまちゃん  
医療・介護ネットワーク

## 課題の抽出及び方策の協議



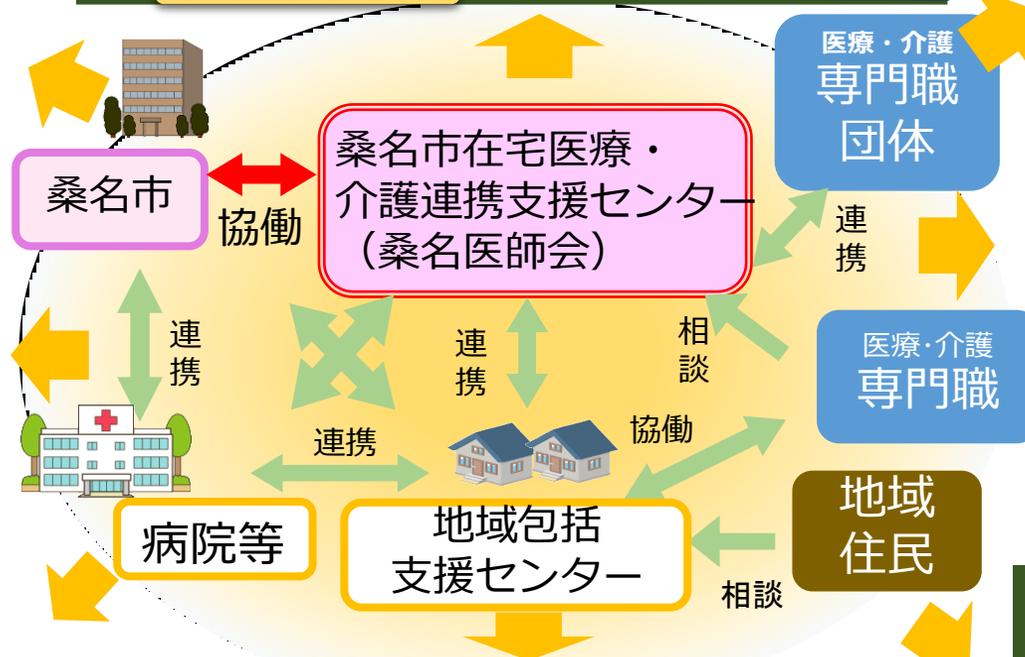
## 医療・介護専門職研修



講演会



グループワーク  
研修会



## 医療・介護連携相談支援

- ◆相談時間  
平日 8:30~17:00
- ◆相談対象者  
医療機関・介護事業所・行政  
地域包括支援センター

## 住民への普及啓発



寸劇



教室



パネルディスカッション

## 地域資源の把握

市民用マップ

関係者用リスト

地域資源機能  
(ICT)

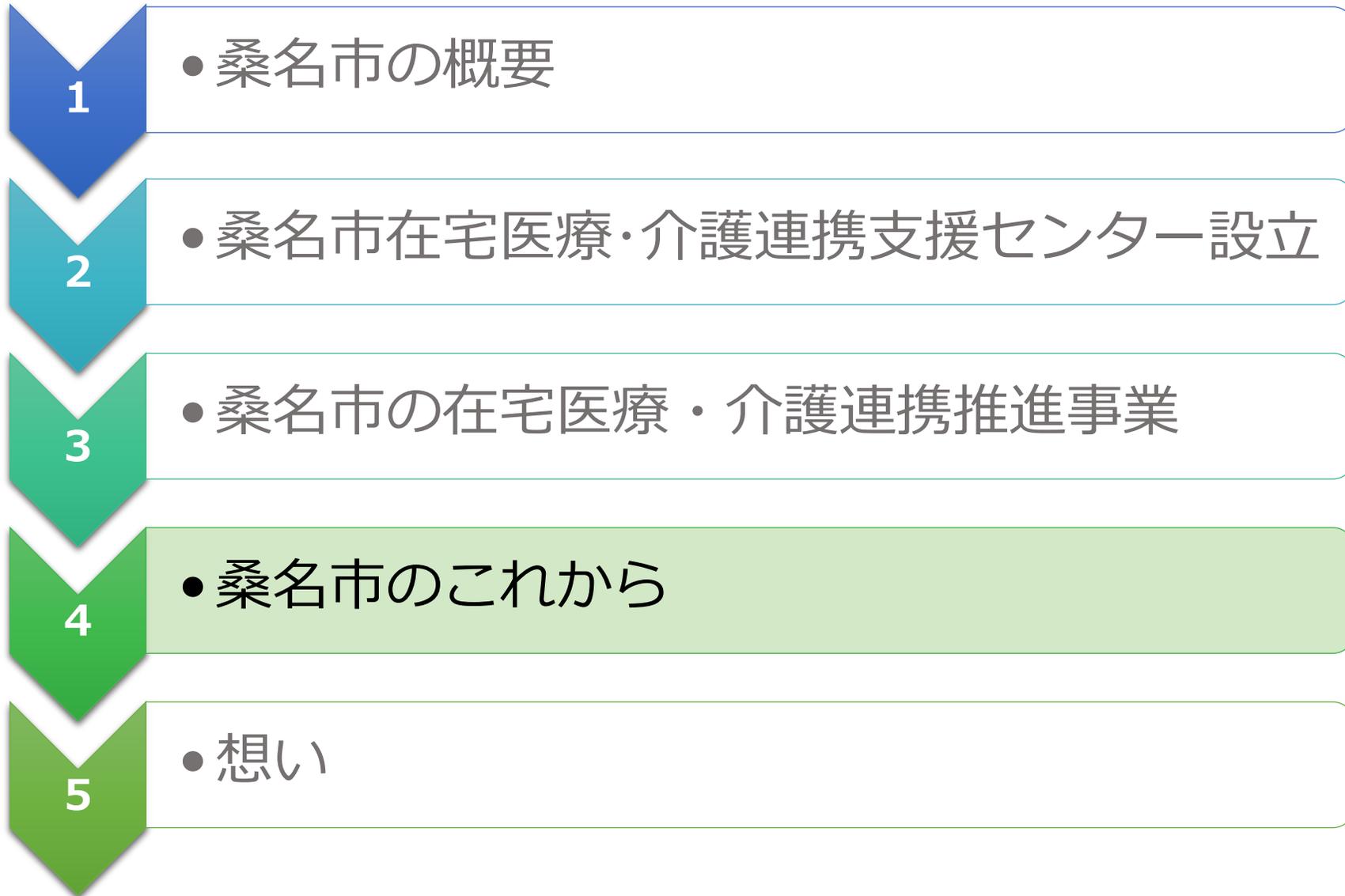
**桑名医師会****桑名市**

センター設立以来、市と医師会は少ない人材でも、専門職のみなさんの力を借りて、事業を進めることができたが、  
本来の目的は… 2025年以降にも、地域住民が安心して在宅療養できる体制を整備することで、ア〜クをこなしたと言えることではない。

では…地域住民が安心して在宅療養できる体制とはどんな体制？  
市と医師会と多職種とで共有できていないのではないか？  
見えてきている課題は、実状と合致するのか？

これまでやってきたことも充分有意義だった。  
意識の変わってきた専門職の方もみえるのがわかる。  
気持ちを切り替えて、これまでのやり方を再検討しよう！

そのためには、改めて、現状の把握と課題の整理が必要。  
その結果から、本来の目的を果たすためには、どのような体制になる  
といいのか、多職種で検討して共有しよう！



# 今年度の重点的取組

## 改めて現状把握と課題の整理を行う

- 1 各職種別ヒアリングの実施
- 2 多職種で研修会開催  
(課題の共有と解決策検討)
- 3 結果の共有
- 4 来年度事業を計画

## スムーズな退院移行支援体制の整備

- 1 病院との合同研修を継続
- 2 桑名市版退院支援ルールを整備
- 3 桑名市版連携シートの作成

## 桑名市在宅医療・介護連携支援センターの相談支援と情報提供の充実

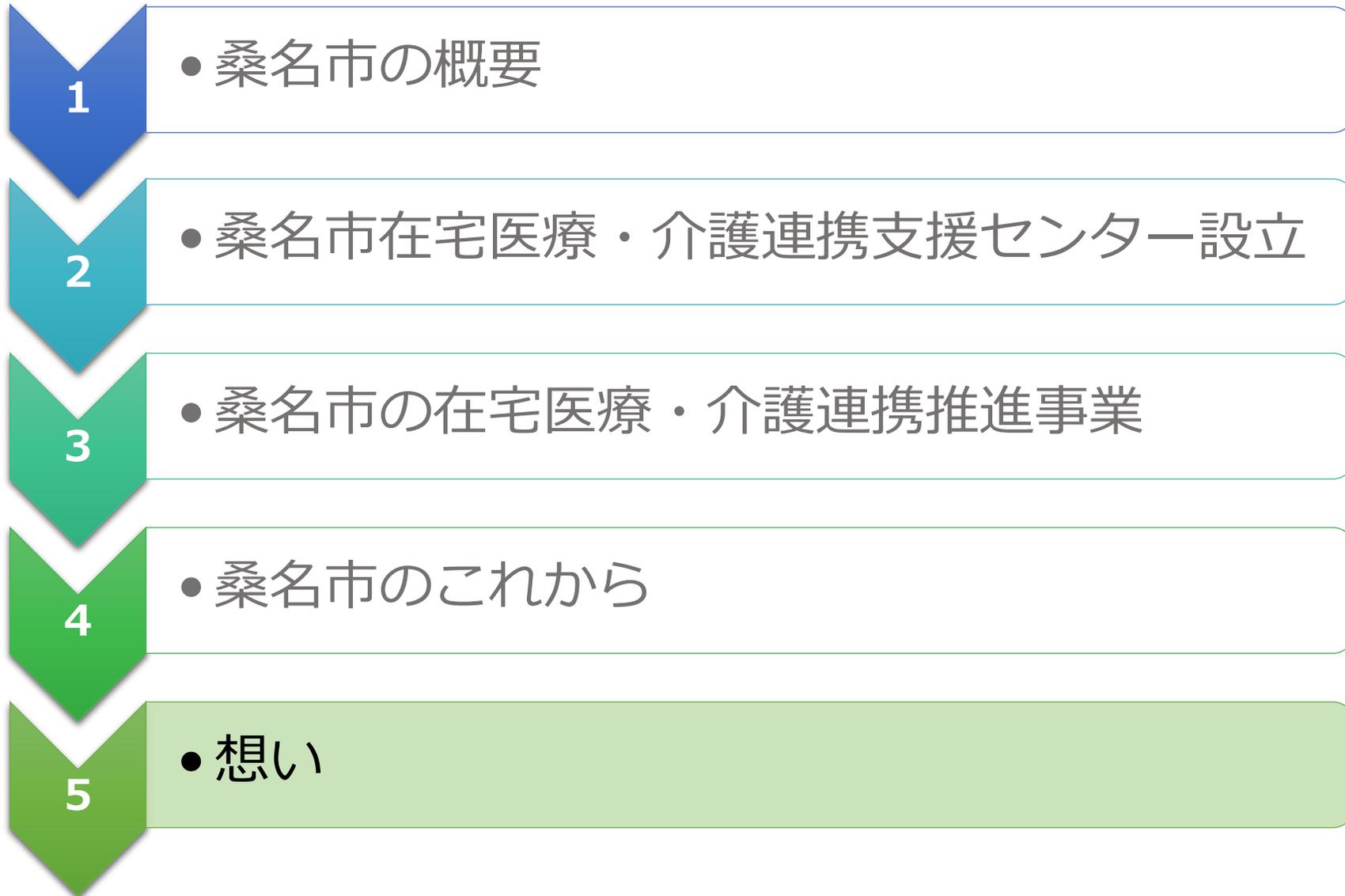
- 1 共通（公開）情報の充実
- 2 短期更新情報の把握
- 3 詳細な情報

## 市民（家族）の在宅療養への理解促進

- 1 在宅療養への関心のない人への働きかけ
- 2 講演会の実施
- 3 アドバンス・ケア・プランニング  
リーフレットの作成・配布

「最期の時を住み慣れた場所で迎える」  
という選択ができるまちを目指して





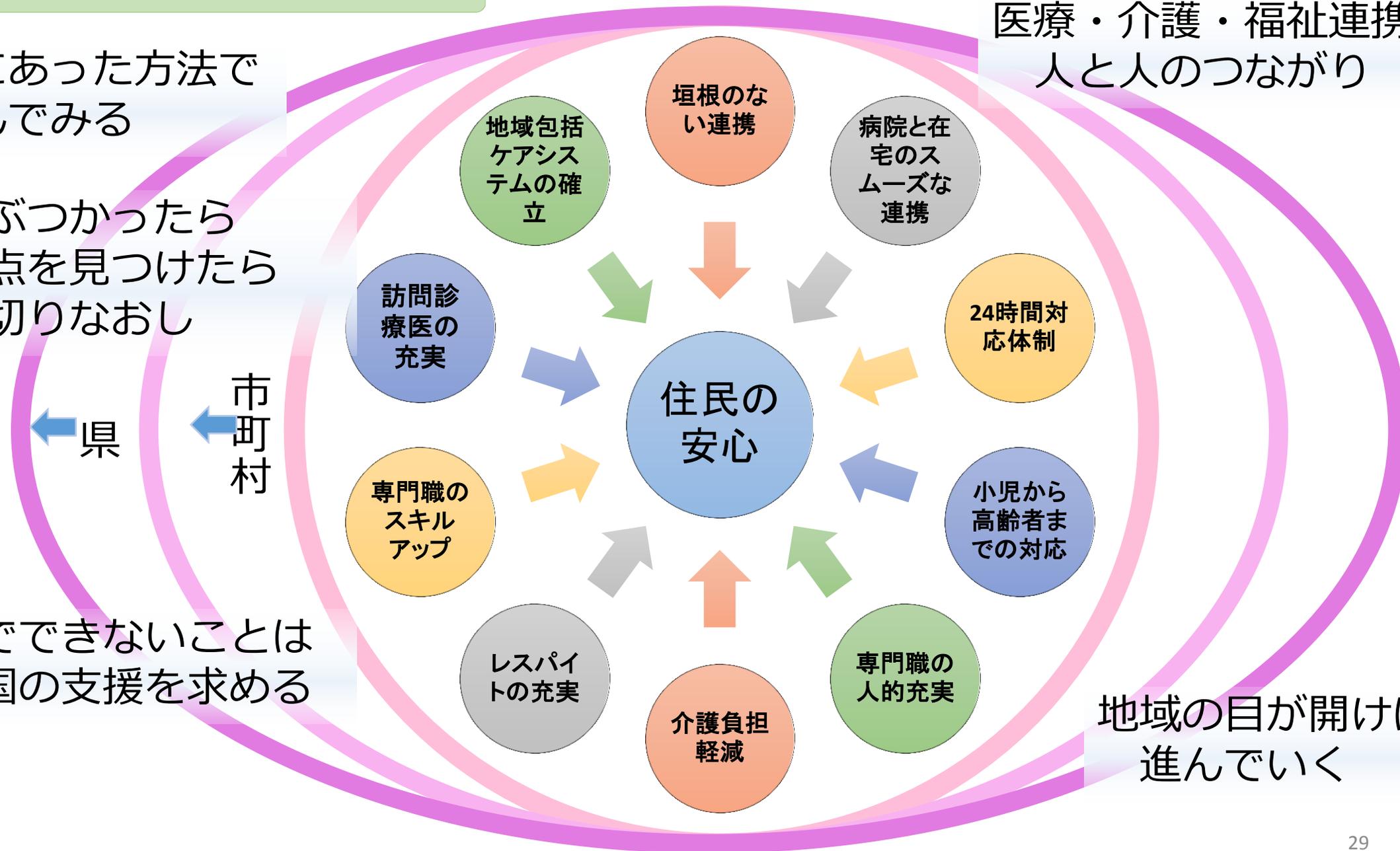
地域にあった方法で  
進んでみる

壁にぶつかったら  
反省点を見つけたら  
仕切りなおし

国 ← 県 ← 市町村

市町村でできないことは  
県・国の支援を求める

医療・介護・福祉連携は  
人と人のつながり



地域の目が開けば  
進んでいく

An aerial photograph of a river delta, likely the Tone River in Japan. The river branches out into several channels, creating a large island in the center. The island and surrounding areas are covered in green agricultural fields, interspersed with small towns and buildings. The sky is blue with scattered white clouds. The text is overlaid on the left side of the image.

「最期の時を  
住み慣れた場所で  
迎えるという選択」  
ができるまちを目指して

ご清聴ありがとうございました